

(令和2年3月試験研究業務月報)

試験研究課題：主要農作物推奨品種決定調査（麦）

研 究

ビール大麦の有望品種選定に向けた調査を実施

京都府におけるビール大麦品種の「サチホゴールデン」については種子供給の停止が予定されているため、本品種に変わる有望品種として「ニューサチホゴールデン」の適応性調査を行っています。

「ニューサチホゴールデン」は、生育特性、収量、品質が「サチホゴールデン」と同等で、栽培管理を大きく変える必要がなく、また、ビールの鮮度を落とす酸化還元酵素が欠失しているためビールの品質が向上します。

現在の生育状況は、「ニューサチホゴールデン」が草丈 53.9cm、茎数 953 本/m²、「サチホゴールデン」が草丈 54.2cm、茎数 1037 本/m²、両品種とも*出穂日が3月26日となり、ほぼ同様の生育を示しています。

得られたデータは、将来の推奨品種化を見据え京都府に適した品種選抜に活用します。

* サチホゴールデンの直近3カ年平均出穂日：4月5日



生育調査（左）、ビール麦出穂の状況（右）